

鎌倉市長谷子ども会館 耐震診断説明書

平成 30 年 1 月 24 日に鎌倉市より受託した鎌倉市長谷子ども会館耐震診断業務委託における耐震診断結果の概要は次の通りである。

1 建築物概要

建物名称	鎌倉市長谷子ども会館（明治 41 年竣工の登録有形文化財の部分）
所在地	鎌倉市長谷一丁目 11 番 1 号
構造・面積等	木造・地上 2 階建、延べ面積 132.63 m ²
用途	子ども会館（児童福祉施設等）
竣工年	明治 41 年

2 現地調査結果

対象建築物の耐震性能及び劣化状況を把握するために必要な調査を行い、以下の結果を得た。

- (1) 構造体は大変強固な上に主要構造体の劣化や損傷は見られず健全である。
- (2) バルコニー及び付近の外壁一部は著しく劣化剥落が見られる。
- (3) 屋根の天然スレート材は著しい劣化状況が見られる。

3 耐震診断結果

「一般財団法人日本建築防災協会」発行の 2012 年改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法」に基づく精密診断法 2（保有水平耐力計算）を用いて、木造建築物の耐震性を示す指標である上部構造評点の計算を行った。

- (1) 上部構造評点は 1 階 X 方向 0.17 Y 方向 0.16、2 階 X 方向 0.32 Y 方向 0.18 で、基準となる 1.0 を下回り、上部構造評点の最小値は 0.16 である。

4 結論

以上を考慮すると、上部構造評点は基準（1.0）に対して大きく下回るため、本建物は建築基準法で想定している地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高いと判断する。

表 鎌倉市長谷子ども会館の診断結果（上部構造評点）

階	X 方向	Y 方向
2	0.32	0.18
1	0.17	0.16

5 補強検討の際の留意事項

- (1) 登録有形文化財の為、外観及び内部意匠を損なわず補強設計を行わなければならない。
- (2) 精密診断法 2 の限界耐力計算にて耐震補強設計を検討した方がよい。
- (3) 劣化箇所を緊急に対応しなくては構造体や他の部材が劣化し建築物の保存は困難になる。
- (4) 偏心率は 1 階 X 方向 0.47 Y 方向 0.03、2 階 X 方向 1.09 Y 方向 0.38 と 1 階及び 2 階共に壁の配置が偏っている。* 今回のルートでは偏心率は保有水平耐力計算には影響しない。